

できる・できる・できる

秋の空に拳を突き上げ
絆行事・体育編
できた・できた・できた



令和六年十月二十日、秋晴れの下、絆行事・体育編を実施しました。昨年度まで合唱コンクール、体育大会の二大行事を独立して行っておりましたが、今年度は絆行事として結び、合唱編を七月に、体育編を十月に実施し、半年間をかけて集団の絆を深めることを目的とする行事として計画しました。

例年、体育大会は、年度初めの五月に行っていたため、前年度の三学期から体育の授業を通して、ソーラン節の練習などを積み上げておりましたが、今年度は秋開催としたため、今年度になってから一年生も加えてソーラン節の練習に取り組み、本番では全校生徒によるソーラン節を披露することができました。

当日は、卒業生がたくさん応援に駆けつけてくれましたが、もしかししたら、自分たちも一年生の時から踊りたかったなと思った卒業生もいたかもしれません。他の競技や演技も時間をかけられた分、質が高まったように感じました。各学年の団体種目も「絆行事」にふさわしいものばかりでした。特に、第二学年の「長縄跳び」は、クラス全員で声と動きを合わせて飛んだ回数を決めるという絆種目でした。毎日、練習に臨む二年生の姿を見ながら、どちらのクラスも絆が深まってきたなあと感じていました。が、本番も見事に飛びきりました。

この行事を引っ張った三年生は、入学当初から元気パワーに満ち溢れた学年でしたが、最高リーダーとなった今年の行事は、その

三年生の色が濃い元気いっぱいのパワーを観客に与えています。私も、この行事を通して生徒に元気をもらいました。

前日の大雨のため、早朝から会場設営に駆けつけた多くの生徒の頑張り、西本徳明長崎市教育長様をはじめとするたくさんのご来賓の皆様、地域住民の皆様、保護者の皆様の応援も力になり、最後は本校の合言葉「梅中しんか(進化・深化・新化) できた・できた・できた」と秋空に拳を突き上げ、達成感を味わう行事となりました。

発行者
長崎市立梅香崎中学校
校長 高坂 英晃
HP: www.nagasaki-city.ed.jp/umegasaki-j
TEL095-824-4997
FAX095-822-4412

二度目の合唱大舞台 連合音楽会に 三年生が出演

十月十七日、長崎市ブリックホールで開催された第七十四回長崎中学校連合音楽会に本校三年生が出演しました。

七月に長崎市民会館文化ホールで見事な合唱を披露した三年生の今年度二回目の大舞台です。プロのアーティストも使用する大舞台で二度も合唱を披露できる喜びを感じたことと思います。

昨年度までは、校内合唱コンクールを本校体育館で実施してきましたが、ここ数年は、コロナ禍の影響を受け、感染防止対策から会場待機時間を短縮するため、各学級の合唱曲を一曲に絞ったり、体育館のコンクールを学年別にしたり、保護者の参観を三年生の保護者のみに限定したりと、多くの制限をかけたコンクールでした。

制限解除に喜び、全校生徒と全保護者、また、地域住民の皆様が一堂に会する校内合唱コンクールは五年ぶりでした。



この成果を受けた連合音楽会は、校内合唱コンクールで全クラス課題曲一曲、自由曲一曲の計二曲を披露したため、まず、三年一組の生徒が自分たちのクラスの自由曲「いつまでも」を演奏。その後、第三学年生徒全員で課題曲「空は今」を演奏しました。

毎年、連合音楽会で他校の教師から「梅香崎中学校の合唱きれいですねえ。」とお褒めの言葉をいただきます。今年度も演奏直後に同じ言葉をいただきました。

キッズコーラスなどの小学校時の積み上げや、指導力のある本校音楽教師の指導、そして、何より音楽が好きな梅中生の頑張りが指揮者と伴奏者、合唱団の一体感をつくっています。